

関係人口創出の現場から 「雪国インターンin越前大野」の活動報告

2026/2/22 関西大学まちづくり研究活動報告会
大野市地域おこし協力隊 川口 昶司



大野市地域おこし協力隊・横町編集部

川口 赴司 (26)

東京都品川区洗足 出身
関西大学 環境都市工学部 建築学科 2023年度卒業

大野に関わり始めて学生時から4年目。
大野市と関西大学の連携協定による地域活動拠点（関西大学横町スタジオ）の運営団体・横町編集部にも現地コーディネーターとして従事。
日頃の拠点のお手入れや単位取得型授業の企画・運営、教育プログラムの運営にも関わっています。

雪国インターン
note記事



横町編集部Instagram



奥越スパイス研究会
Instagram



地域おこし協力隊



雪国インターン

都市部の学生を対象にした、短期滞在型インターシップ

企画・広報から運営まで

地域サークルの 立ち上げ・運営



奥越スパイス研究会

地域資源の再発見を目的とした、スパイスカレーサークル

- ・ 飲食出店、間借り運営
- ・ 拠点の開発や運営

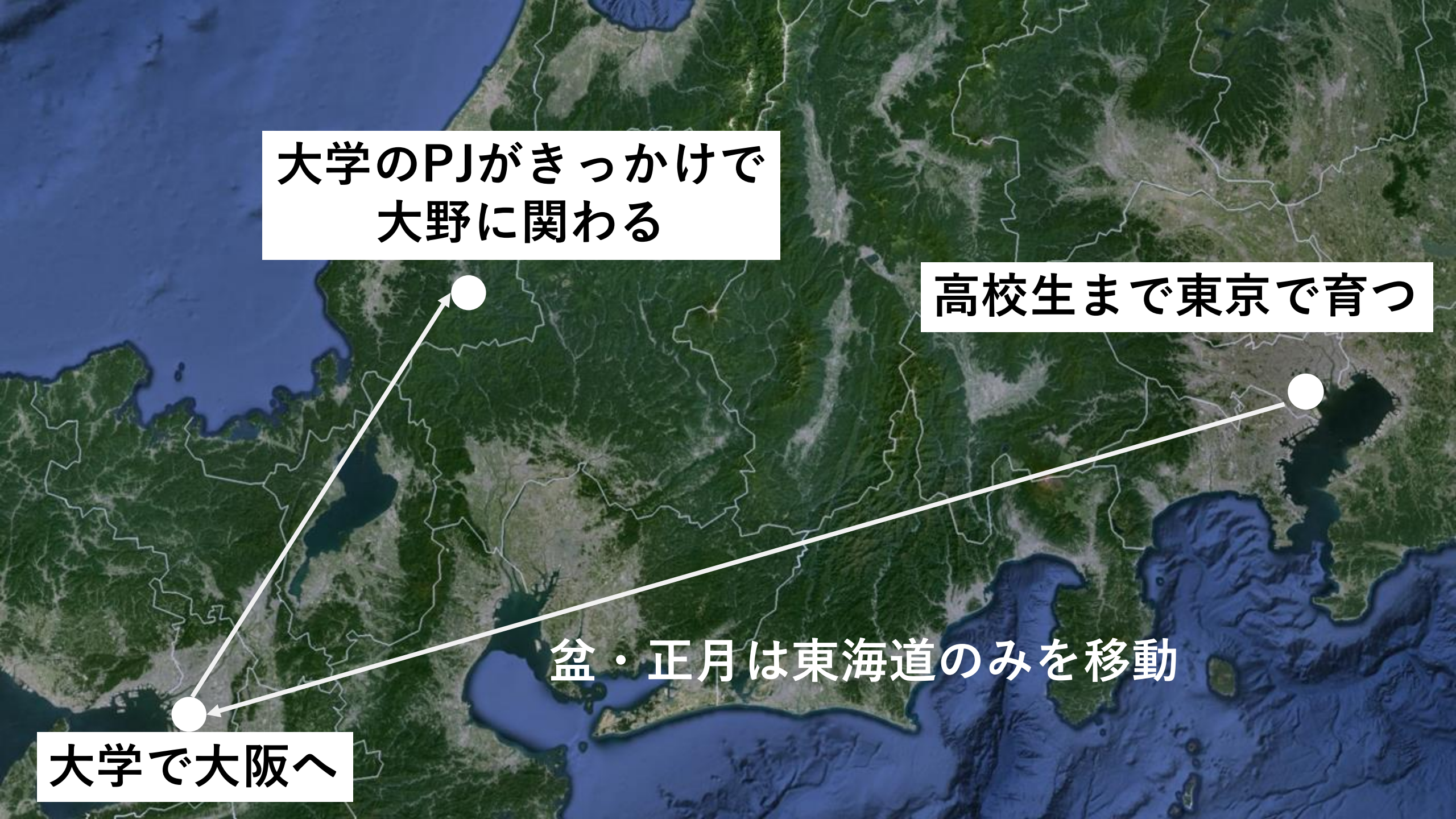
大学連携事業



横町編集部

関西大学との連携事業による横町スタジオのお手入れ団体

- ・ 単位認定滞在型講義の運営
- ・ WSの企画・実施・運営
- ・ 春日通りラボ改修 など 3



大学のPJがきっかけで
大野に関わる

高校生まで東京で育つ

盆・正月は東海道のみを移動

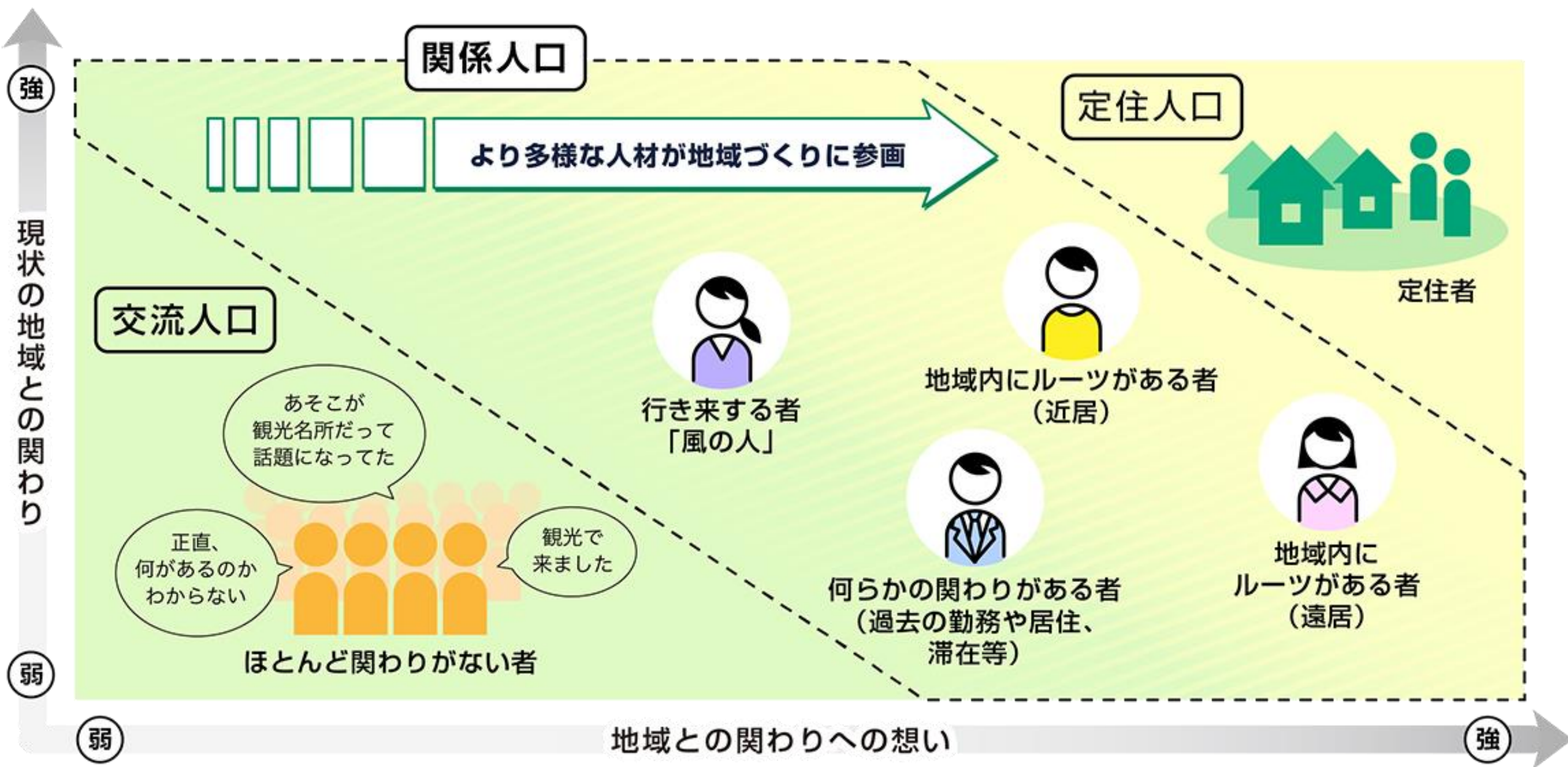
大学で大阪へ

大学に入って感じたこと…

「ふるさと」 と思える場所がないこと

関係人口創出コーディネーター業務

関係人口とは

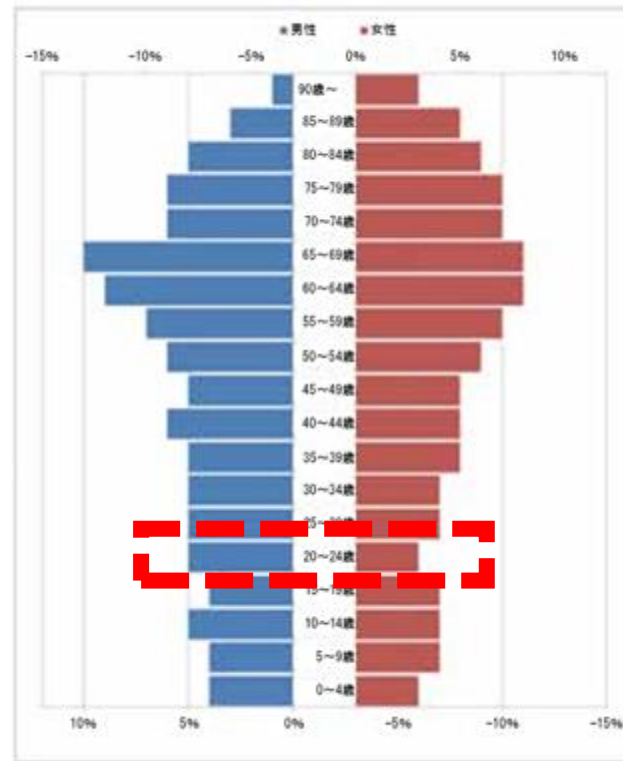


課題の定義

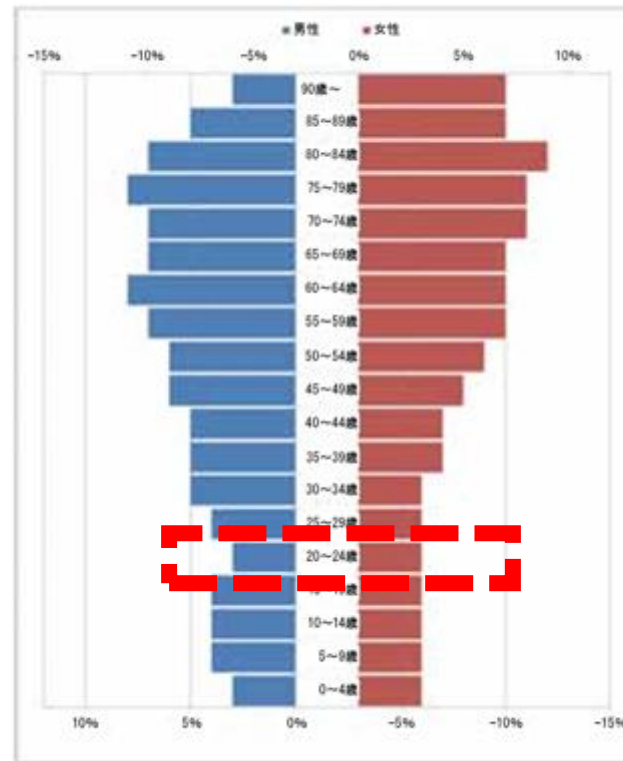
人口が減ることにより
一人当たりの役割が増える



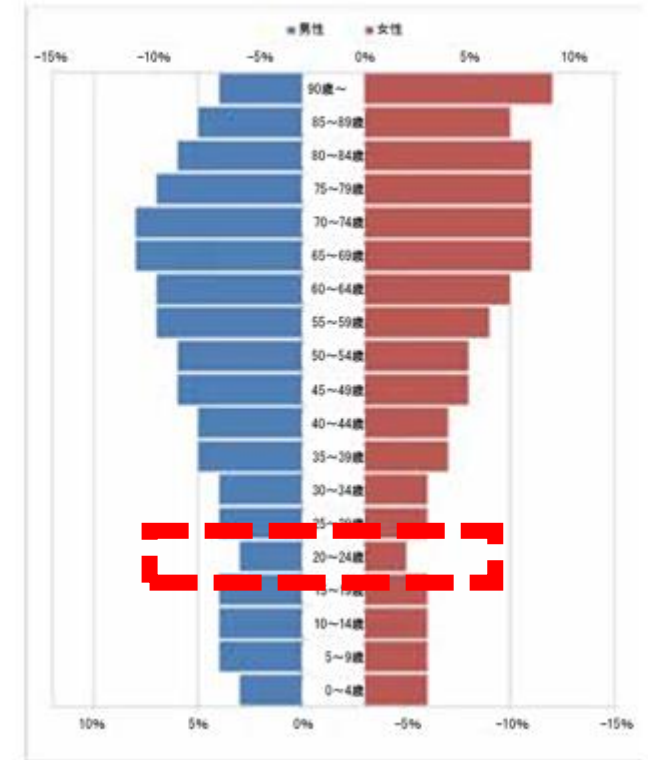
平成27年（2015年）



令和12年（2030年）



令和27年（2045年）



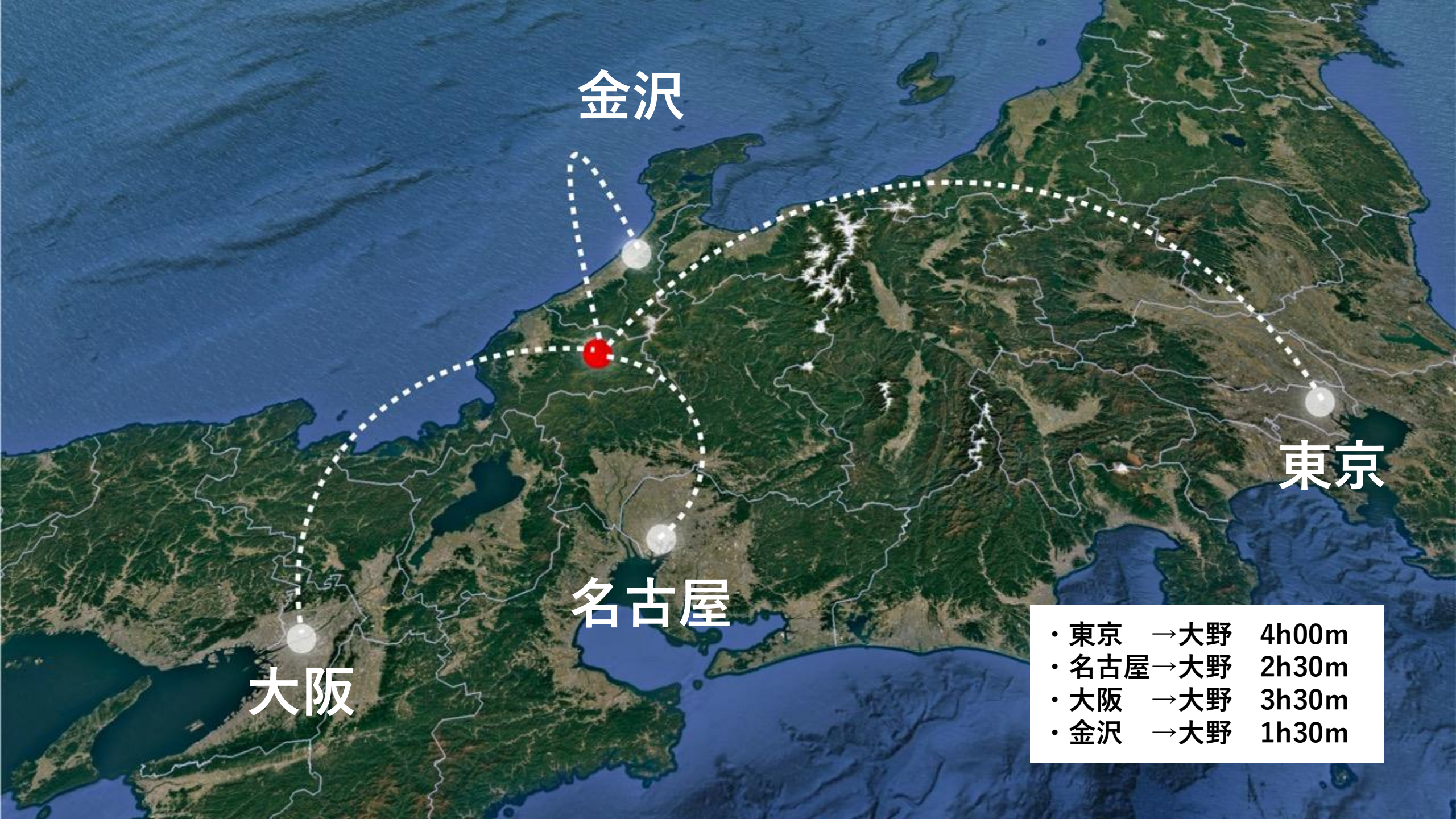
関係人口創出のターゲット

大学生

関係人口創出コーディネーター業務

大学生が

大野に定期的に訪れたくなる企画や仕組みの構築



金沢

東京

名古屋

大阪

・ 東京	→ 大野	4h00m
・ 名古屋	→ 大野	2h30m
・ 大阪	→ 大野	3h30m
・ 金沢	→ 大野	1h30m

「雪国インターン in越前大野」



参加申し込み学生：25名

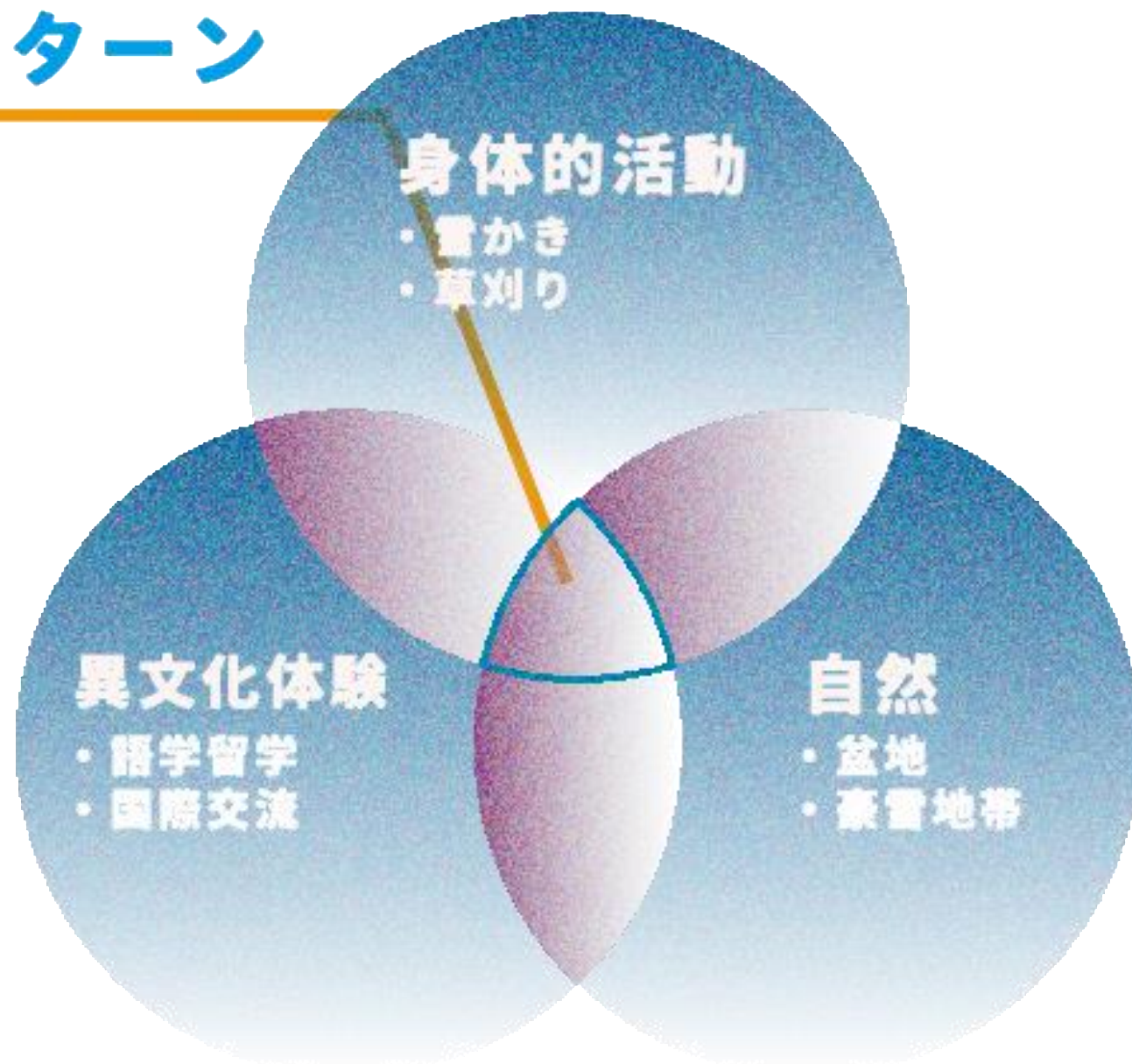
前回の実績

2024年度冬：6名受け入れ/参加申し込み8名

2025年度夏：15名受け入れ/参加申し込み25名

2025年度冬：9名受け入れ/参加申し込み13名

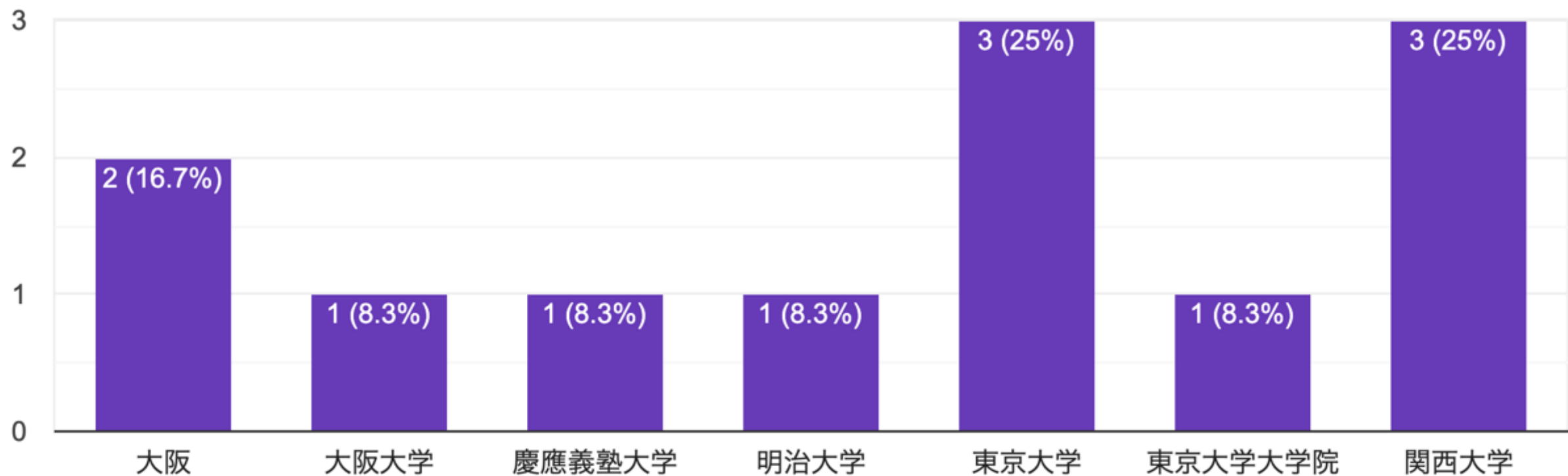
雪国 インターン





大学

12 件の回答



都市部の大学への広報は「会いに行く」ことから始めた

- ・ 関東・関西・中京圏の大学の「**地域連携を主に扱う部署**」を対象に広報営業を実施
- ・ メールだけでは伝わらないと感じ、**実際に大学を訪問**
- ・ 結果として45大学とやり取り → 広報OKは約半数の**25校**

広報営業で直面した「厳しい現実」



慶院



「うちの学生は企業に就職することにしか興味がない」
「学生の成長＝就職に役立つ経験」
地域から単身で訪問すると、話を聞いてもらえないことも多かった

そんな中でも、評価してくれた大学もあった

とある大学でかけられた言葉

「学生の大半が大企業に就職してしまう。その前に地域を知って欲しい。」

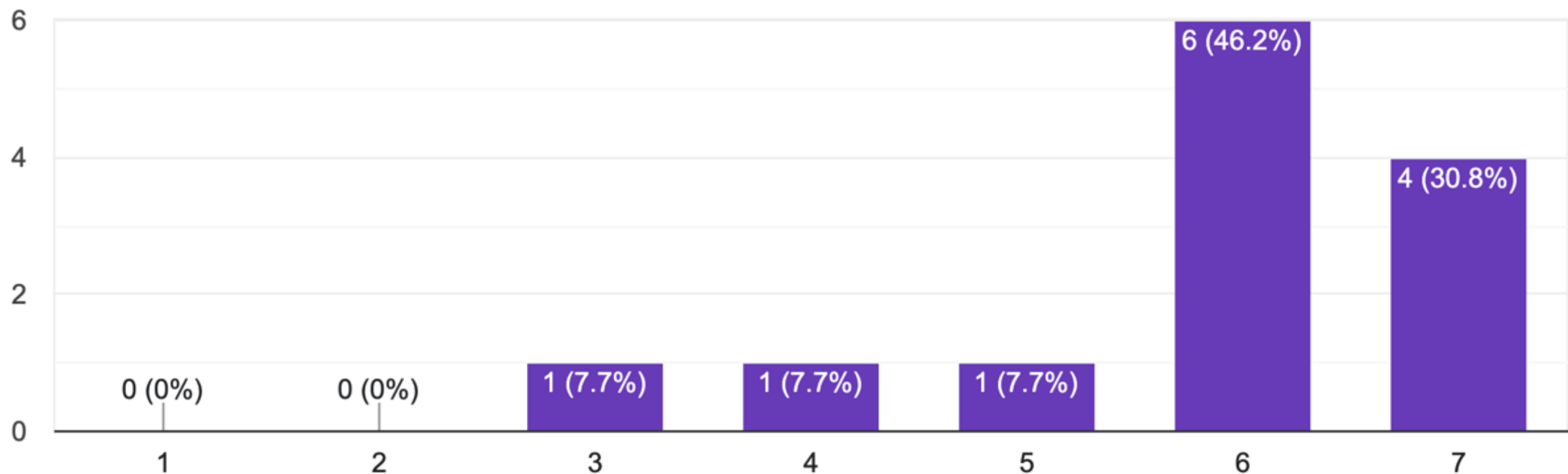
「大学としては“人を育てる”ことを大切にしているからこそ、地域を知る機会をつくりたい」

「連携協定の下で、スタジオのような環境をつくりたい」

ただし、課題もありました

現地に人を配属できない、予算確保が難しい

横町スタジオのような地域住民と様々な学生が協働して活動・滞在できる拠点が必要であると思った
13件の回答

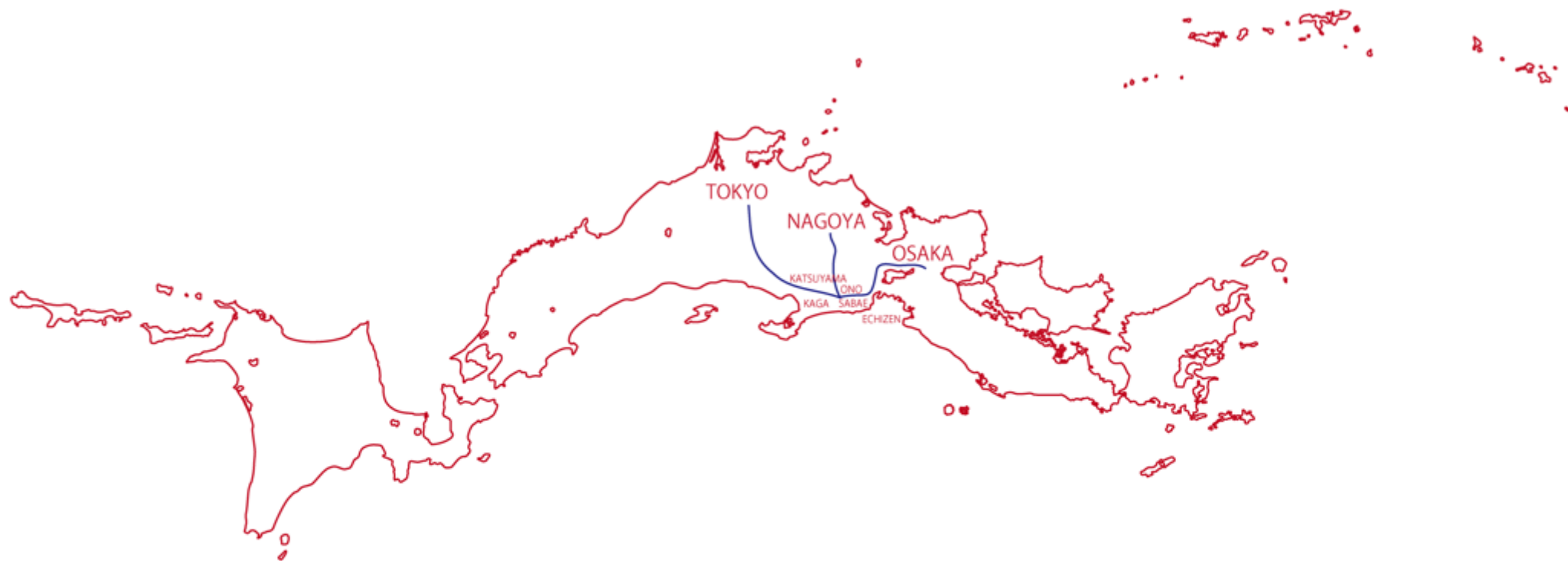


病院

つまり・・・

拠点＋仕組み＋人材があるというのは先進的事例であるということ

**大学連携事業で得たノウハウを
地域が主体となり展開するフェーズ**



3.5H WORK-LIFE LOCAL CITY

- population density -

23	ISHIKAKAWA	1	TOKYO
30	GIFU	2	OSAKA
32	FUKUI	5	AICHI

